

会 議 要 旨

( 1 / 4 )

会議の名称	令和7年度第2回川越市立美術館協議会
開催日時	令和8年2月20日(金) 午前10時開会・午前11時30分閉会
開催場所	川越市立美術館会議室
会長氏名	(会 長) 宮澤光造
出席委員氏名 (人数)	(副会長) 山田誠次 (委 員) 青柳達雄・吉岡知子・山崎共子・ 横山敦子・西野 博・岡部秀子 (7人)
欠席委員氏名 (人数)	(委 員) 瀬下洋之 (1人)
事務局職員 職・氏名	館 長 山田明子 副館長 折井貴恵 副主幹 濱田千里
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1)令和8年度事業計画 (2)令和6・7年度総括 (3)その他 4 閉会
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 令和8年度事業計画(展示)(教育普及)</li> <li>・ 令和8年度展示案内(仮)</li> <li>・ 川越市立美術館協議会委員名簿</li> <li>・ 諮問(写し)</li> </ul>

## 議 事 の 経 過

## 議題(1) 令和8年度事業計画

## 1 展示について

事務局より資料1 令和8年度事業計画（展示）及び令和8年度展示案内（仮）について説明後、質疑応答。

委 員 冬季特別展の始期を一週間早めてはどうか。年始には初詣客等で賑わうため。

事務局 展示期間の関係で会期は50日が限界であるため、今回は終期を3月の三連休に合わせた。また、作品借用の関係があり、年末年始に係る作業が困難であるという理由もある。

委 員 秋季特別展「杉浦非水と『非水百花譜』」について。原画と版画、数多く見てわかってきたことがあったとのことだが、展示でもわかるような工夫はするのか。

事務局 ①原画の描かれた時期が必ずしも出版順ではない ②園芸種は原画化したものの作品化に至っていない傾向 がわかっているので、その理由の掘り下げも含め展示に生かしたい。

委 員 小学5年生の道徳の教科書に福島県新地町での東日本大震災のエピソードが取り上げられている。冬季特別展「齋藤研と仲間たち」の齋藤氏が新地町にアトリエ、とあり、また3.11が会期にかぶることもあるので、上手に関連付けられるとよいのかも。

事務局 参考にさせていただく。

## 2 教育普及について

事務局より資料2 令和8年度事業計画（教育普及）について説明後、質疑応答。

委 員 4校美術部展について。現在の市民ギャラリーでは会場が狭い。広い企画展示室に会場を移し参加校数も増やしては。

委 員 本格的な企画展示室では生徒にプレッシャーがかかるのでは。現在は作品の運搬が容易な近隣校で行っているというのが実情であるが、意見については顧問にも情報共有する。

事務局 企画展示室は天井が高く、現在は1日で終わる展示作業が手間取る恐れがある。であれば、中学校美術部展のように、市民ギャラリー＋アート

議 事 の 経 過

ホールではいかがか。

委 員 実技講座の一日でできる鑄造とはどのようなものか。

事務局 電熱器で溶ける融点の低い金属を使い、型はイカの甲を使用するもの。

**追加説明**

事務局より以下について説明後、質疑応答。

- ・新年度から始まる新しい総合計画のなかでは美術館に関する指標はなくなった
- ・施設改修については、年末に臨時休館し収蔵庫系統空調設備更新工事を行う見通し
- ・使用料改定については、令和7年度中はなかったが、令和8年度以降に引き続き検討の見通し
- ・施設予約システムが4月から変わりシステムで決済までできるようになる

委 員 新施設予約システムは美術館独自で申し込む形か。

事務局 公民館と総合福祉センターは独自運用するが、美術館は全体と同じ運用になる。

委 員 展示室の24時間空調化工事の進捗はいかがか。

事務局 LED化も含めた全体計画のなかで進めているものの、進捗がはかばかしくないため、収蔵庫部分を先行して進めている状況。

**議題(2) 令和6・7年度総括**

各委員に意見を求めた。出された意見は以下のとおり。

- ・LED化をなるべく早く願いたい。地下展示室が暗い。
- ・飲食可能な休憩場所が欲しい。美術館・博物館の間のオープンスペースでいかがか。
- ・少人数の職員で展示・教育普及ともよくやっていると思う。
- ・美術館の活動は、収蔵品の保存とその活用としての展示がメイン。財政面の問題もあるがそれを克服し、より充実した活動を願う。
- ・展示室の24時間空調化が進まないことで、美術品を持っているのに見せられない・資産を活用できないのは悪いこと。機械類もどんどん値上がりしていくので、早めに設備を整え、資産を活用していくよう求める。

## 議 事 の 経 過

- ・こどもたちが、時間がある夏休みにいっぱい来られるといい。そのためには、休憩室や小さい子が遊べるスペース等を整備し、家族で来られるようになるといい。
- ・美術館を持っている自治体はそう多くない。きちんとお金をかけて施設維持してほしい。
- ・来館者数増が結局は施設への投資につながる。
- ・特別展が半減したのはショックだった。4本に戻すべき。まずは3本。常に特別展を行っているのが本来の美術館の健康な姿。
- ・「川越らしい」展覧会を行っていることは評価するが、毎年でなくとも、自主企画でなくとも、人を集められる3本目の展覧会を開催し美術館をアピールすべき。加えて、総合計画の指標はなくなったとのことだが、観覧者数の目標は定めて増を目指していくべき。

### 議題(3) その他

その他として意見を徴収したところ、以下の意見が出された。

- 委 員 企画展示室を半年、空けておくのはもったいない。他へ貸し出して使用料を徴収するとか、あるいは常設展示を企画展示室まで広げてはどうか。
- 委 員 企画展示室を一般に貸し出すのは、作品保存の観点から難しいと考える。

令和7年度第2回川越市立美術館協議会次第

日 時 令和8年2月20日（金）  
午前10時～  
場 所 川越市立美術館会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 令和8年度事業計画

1 展示について (資料1)

2 教育普及について (資料2)

(2) 令和6・7年度総括

(3) その他

4 閉 会

## ■ 令和8年度 事業計画（展示）

### 【特別展】

※観覧料（ ）は団体 [20人以上] 料金。障害者手帳所有者とその介護者1人は無料。

展覧会名・会期・観覧料	概 要
生誕 150 年 杉浦非水と『非水百花譜』  10月17日(土)～12月13日(日) (50日間)  大人 700円(560円) 大高生 350円(280円) 中学生以下 無料	日本におけるグラフィックデザイン草創期の図案家・杉浦非水(1876-1965)。令和5年度、当館では、非水が川越に疎開させていた資料群を初公開する展覧会を開催し、好評を得ました。特に新発見の「非水百花譜」原画71枚は、非水の確かなデッサン力と自然への真摯なまなざしを示す資料として大きな話題となりました。  そこであらためて、本展では、非水の代表的な仕事である『非水百花譜』に注目します。まずは、版画集『非水百花譜』とその原画を並べた展示を実現し、それぞれの良さをご鑑賞いただきます。さらに版画にならなかった原画から、『非水百花譜』構想の過程の考察を試みます。『非水百花譜』の特色でもある「灯影写生図」(シルエット図)にもスポットを当て、シルエットモチーフが非水の図案に果たした役割を検証します。
齋藤研と仲間たち(仮)  1月23日(土)～3月22日(月)祝 (51日間)  大人 700円(560円) 大高生 350円(280円) 中学生以下 無料	川越ゆかりの洋画家・齋藤研(1939-2020)は、人物、静物、風景などをモチーフに、繊細でリアルな作品を描きました。東京に生まれ、戦時中は福島県新地町に疎開し同地の高校を卒業しました。東京藝術大学では林武に師事し、同大油画科専攻科を修了後は、独立美術協会を舞台に活躍しました。一方、女子美術短期大学で教鞭を執り、後進の指導にもあたりました。2006年、当館は当時川越に暮らしていた齋藤の個展を開催しました。それから20年が経ち、このたびは晩年に暮らした新地町に遺された作品を中心に、再び齋藤研の画業を顕彰します。周辺作家の作品も展示し、独立美術協会のメンバーや女子美術短期大学の教員など、多くの仲間に慕われた齋藤の人となりが見える展示を目指します。

## 【常設展】

※観覧料は大人 200 円（160 円）・大高生 100 円（80 円）・中学生以下無料。

※観覧料（ ）は団体 [20 人以上] 料金。障害者手帳所有者とその介護者 1 人は無料。

テーマ・会期	概要
第 1 期 3 月 25 日(水)～6 月 21 日(日)	美術家と鳥 相原求一郎の画業 1
第 2 期 6 月 30 日(火)～9 月 13 日(日)	夏の美術 相原求一郎の画業 2
第 3 期 9 月 16 日(水)～12 月 13 日(日)	生誕 120 年 内田静馬 相原求一郎の画業 3
第 4 期 1 月 5 日(火)～3 月 22 日(月)祝	戦後の美術 相原求一郎の画業 4

## 【タッチアートコーナー】 ※観覧無料

テーマ・会期	概要
第 1 期 コレクション さわってひろげる 3 月 25 日(水)～6 月 21 日(日)	館蔵品から、形や素材の異なる作品を複数選び、触ることによって作品の成り立ちを感じ取れる展示とする。また、簡単な参加型のコーナーの設置を予定している。
第 2 期 三島樹一展 たねから宙へ 6 月 30 日(火)～9 月 13 日(日)	彫刻家・三島樹一（1949 年生まれ）の木彫作品を紹介する。人体を制作していた三島は、還暦を境にモチーフを転換し、マメを尊い命のシンボルとして真摯に向き合っている。本展では、手で触れて鑑賞できる木彫を展示する。現在、国画会会員。
第 3 期 西村大喜展 9 月 16 日(水)～12 月 13 日(日)	西村大喜（1986 年生まれ）は、主に石と竹の二つの素材で彫刻作品を制作している。制作拠点付近の竹林を自ら管理して彫刻材とすることで、山間部の放置竹林問題に取り組む。柔らかい造形の抽象彫刻から、人物をモチーフとするユーモラスな具象彫刻まで多岐に渡る仕事を幅広く紹介する。
第 4 期 佐藤晃展 1 月 5 日(火)～3 月 22 日(月)祝	佐藤晃（1964 年生まれ）は、主に花崗岩を素材に、屹立するモニュメンタルな抽象彫刻を制作し続ける石の彫刻家。ダイナミックながら、作品の肌になめらかさを加え、ニュアンスを大事にする繊細さを兼ね備える。タッチアートコーナーの趣旨にあわせ、触れる作品を中心に展示する予定。

## ■ 令和 8 年度 事業計画（教育普及）

### 【教育普及】

#### ■ワークショップ「ジュニアアートスクエア／アートスクエア」

原則毎月第4土曜日・午前10時～正午に開催。制作やアート体験。

講師：美術館職員または外部講師（タッチアートコーナー出展作家等）

ジュニアアートスクエア 対象・定員…小学生・20人

アートスクエア 対象・定員…どなたでも・原則20人

#### ■実技講座

1日間の基礎的な実技講座を1回実施（鋳造体験の予定）

#### ■金沢健一展（金沢健一との共催）

市内にアトリエを構える彫刻家・金沢健一（1956- ）と共催し、展示・ワークショップ・パフォーマンスなどを通して現代美術の鑑賞の在り方を提示する

会期：5月2日(土)～24日(日)（会期中ワークショップ等を実施）

会場：企画展示室

### 【博物館との連携】

#### ■ミニ灯籠をつくろう【担当課：博物館】

午前中は博物館でミニ灯籠を作り、午後は美術館で絵を描いたり色を塗ったりする

時期：8月3日(水)（予定）

対象・定員：小学生～中学生・20人（小学1、2年は保護者同伴）

### 【学校との連携】

#### ■令和 8 年度第 17 回川越市立中学校美術部展

市立中学校 22 校の美術部／美術系部活動の生徒作品を展示

会期：8月19日(水)～23日(日)（予定）

会場：市民ギャラリー

#### ■「ミュージアム×スクール」

学校の授業に美術館が作家・作品を手配。児童生徒とアーティストとの交流や、児童生徒が実物の作品に触れる機会をつくる。

作家：西村大喜氏（タッチアートコーナー第3期出品作家）

時期：9月16日(水)～12月13日(日)のうちいずれか1日  
会場：市立小・中学校のうち希望校1校(4月募集予定)

■「ミュージアム×スクール」(埼玉県立特別支援学校塙保己一学園連携事業)

アーティストと作品が授業に参加する。

作家：佐藤晃氏(タッチアートコーナー第4期出品作家)

時期：1月5日(火)～3月22日(月)祝のうちいずれか1日

会場：埼玉県立特別支援学校塙保己一学園

■埼玉県立川越高等学校、埼玉県立川越女子高等学校、埼玉県立川越工業高等学校、川越市立川越高等学校、4校美術部展 (同展実行委員会との共催)

上記各校美術部の展示

会期：1月9日(土)～11日(月)祝(予定)

会場：市民ギャラリー

備考：埼玉県立川越総合高校が加わる可能性あり

■令和8年度川越市小・中学校児童生徒県特選受賞作品展

「身体障害者福祉のための児童生徒美術展覧会」「埼玉県郷土を描く児童生徒美術展」「埼玉県小中学校児童生徒美術展」において特選・県知事賞等を受賞した川越市立小中学校の児童生徒作品を展示する

会期：令和9年2月19日(金)～23日(火)祝(予定) ※22日(月)は休館

会場：アートホール

■アートカードの貸し出し

希望校に「埼玉アートカード」(80セット)を貸与し、授業に活用する。

時期：随時

■令和8年度小学校第6学年博物館・美術館利用(バス見学)【担当課：博物館】

市立小学校32校の6年生による美術館見学

時期：5～7月・9～11月

## 【大学への協力】

■博物館実習

学芸員資格取得に必要な実習の受け入れ

時期：7月下旬から8月上旬 6日間

人数：若干名

## 【サポートスタッフ】

美術館事業を支援するボランティアスタッフ。

令和8年度登録者50人（見込み）

（参考：現在登録者50人のうち更新希望43人。欠員を新規募集）

登録後3年まで更新可。

**主な支援事業** ■ジュニアアートスクエア、実技講座の支援

■教育普及事業における展示（中学校美術部展、特選展、金沢展）の看視、  
および関連イベントの支援

■展示鑑賞補助（相原求一郎記念室、タッチアートコーナー）（計画中）

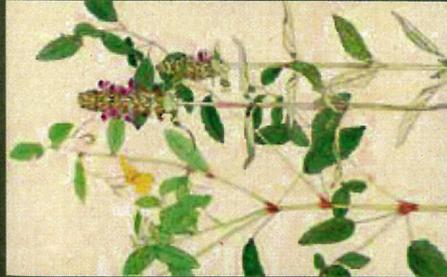
■特別展関連イベント（内覧会、講演会、ワークショップなど）の支援

■広報印刷物の区分・梱包など

特別展

# 生誕150年 杉浦非水と『非水百花譜』

10月17日(上)～12月13日(日)



画家・杉浦非水(1876—1966)の代表的な仕事に、版画集『非水百花譜』(1920—22年)があります。本展では、非水が川越に疎開させた資料の中に見出された原画を中心に、現存する原画を一室に集め、『非水百花譜』構想の過程をたどります。

左：杉浦非水『つぼぐさキツリアネツグ』1918年

愛媛県美術館蔵

右：杉浦非水『やまゆり』1918年

個人蔵

特別展

# 齋藤研と仲間たち

1月23日(土)～3月22日(月・祝)



川越と福島県新地町の二拠点で活躍した画家・齋藤研(1939—2020)の回顧展。2006年に開催した当館個展以降の作品を中心に展覧し、独立美術協会など多くの仲間に慕われた画家のひととなりにもせまります。

左：齋藤研『花総草集申』2011年 個人蔵 右：齋藤研『空中庭園』2016年 個人蔵

2026 April 4

企画展示室

## 金沢健一線について—自作の3シリーズから

(観覧無料)

5月1日(金)～24日(日)

2025 May 5

## 第52回川越美術協会展

(観覧無料)

4月14日(火)～19日(日)

2025 June 6

## 美術家と鳥

相原求一朗の画業1

3月25日(水)～6月21日(日)



中村一美『存在の鳥338(ピンズイ)』2018年

## コレクシヨン

さわってひろげる

3月25日(水)～6月21日(日)



鈴木英明『最初の空巣』2006年

2025 July 7

## 夏の美術

相原求一朗の画業2

6月30日(火)～9月13日(日)

2025 August 8



岩崎勝平『空に願ける』1934年

2025 September 9

## 生誕120年 内田静馬

相原求一朗の画業3

9月16日(水)～12月13日(日)



内田静馬『静物(A)』1931年

2025 October 10

## 第73回川越市美術展覧会

(観覧無料)

第1期 9月23日(水・祝)～27日(日) 第2期 9月30日(水)～10月4日(日)

2025 November 11

## 特別展

### 生誕150年 杉浦非水と『非水百花譜』

一般700円 大学生・高校生350円

10月17日(土)～12月13日(日)

2025 December 12

## 特別展

### 齋藤研と仲間たち

一般700円 大学生・高校生350円

1月23日(土)～3月22日(月・祝)

2027 January 1

2027 February 2

2027 March 3

常設展示室  
相原求一朗記念室

タッチアートコーナー  
(観覧無料)

## 戦後の美術

相原求一朗の画業4

1月5日(火)～3月22日(月・祝)



池田幹雄『滄』1966年

## かたまりとひだ

佐藤晃展

1月5日(火)～3月22日(月・祝)



佐藤晃『大気の鏡』2023年

(experience) 2023年

(MASS) 2011年

# 川越市立美術館協議会委員名簿

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

区分		氏名	性別	推薦団体・役職	備考
関係団体	社会教育関係	青柳 達雄	男	川越美術協会・会長	3期 (R2-)
		吉岡 知子	女	埼玉県立近代美術館・主任学芸員	2期 (R4-)
		山崎 共子	女	川越商工会議所・常議員	3期 (R2-)
	学校教育関係	横山 敦子	女	川越市校長会・会員 (川越市立寺尾小学校校長)	1期 (R6-)
		西野 博	男	埼玉県高等学校長協会 川越ブロック高等学校長協会・代表 (埼玉県立川越女子高等学校校長)	2期 (R4-)
	学識経験者	山田 誠次	男	川越市障害者団体連絡協議会・会長	5期 (H28-)
		宮澤 光造	男	尚美学園大学 芸術情報学部情報表現学科・教育専任教授	8期 (H21-)
	公募	岡部 秀子	女	公募	1期 (R6-)
瀬下 洋之		男	公募	1期 (R6-)	

○

◎

敬称略

◎会長 ○副会長

川美発第 38 号  
令和 6 年 5 月 24 日

川越市立美術館協議会会長 様

川越市長 川合善明



川越市立美術館の運営について（諮問）

標記の事項について、川越市立美術館協議会に諮問します。